

## 日銀短観(12月調査)予測

### ～政策効果の剥落に伴い企業マインドが低下～

#### <業況判断DI>

- (1) 日銀短観12月調査では、政策効果の剥落や輸出の増勢鈍化に伴い、2009年6月調査から改善してきた企業マインドが低下に転じる見通し。全規模・全産業ベースの業況判断DIは、前回調査対比▲2ポイントの悪化を予想。
- (2) 業種・規模別にみると、大企業製造業の業況判断DIは前回調査対比▲5ポイント低下し、+3ポイントとなる見通し。9月初旬のエコカー補助金終了による大幅減産に伴い、自動車の業況判断DIが9月調査の+32ポイントからマイナスに転化し、全体の業況判断DIを▲3～4ポイント押し下げると予想。  
 中小企業製造業については、大企業製造業の動きに連動して、前回調査対比▲2ポイント低下する見込み。
- (3) 一方、大企業非製造業の業況判断DIは、前回調査対比▲1ポイント低下する見通し。①7～9月期における猛暑効果の剥落、②自動車販売の大幅減、などを背景に、卸・小売、運輸の業況判断DIが低下する見込み。  
 中小企業非製造業においては、公共工事削減の影響を受ける中小建設業の低迷が続くほか、生産活動の低迷を受けて卸売、運輸などが低下し、前回調査対比▲2ポイントと予想。
- (4) 2011年3月を想定した先行き見通しDIは、大企業製造業で今回調査対比▲8ポイント低下する見通し。①輸出の低迷、②エコポイント縮減に伴う家電販売の反動減、を背景とする収益環境の悪化が主因。

(図表1) 業況判断DIの予測

(「良い」-「悪い」、%ポイント)

		6月	9月	12月	先行き
		(実績)		(今回当社予測)	
製造業	大企業	1	8	3	▲5
	中堅企業	▲6	4	0	▲8
	中小企業	▲18	▲14	▲16	▲20
	全規模	▲10	▲4	▲7	▲13
非製造業	大企業	▲5	2	1	▲5
	中堅企業	▲13	▲8	▲9	▲14
	中小企業	▲26	▲21	▲23	▲23
	全規模	▲19	▲13	▲15	▲17
全産業	大企業	▲2	5	2	▲5
	中堅企業	▲10	▲3	▲5	▲12
	中小企業	▲23	▲18	▲21	▲22
	全規模	▲15	▲10	▲12	▲16

